

護衛艦「たかなみ」体験航海に参加 ～護衛艦に乗れる貴重な体験に感動！～



見送る かい君（栃木地本キャラクター）



体験航海中の護衛艦「たかなみ」の様子



「おかえりなさい」



記念撮影をする参加者



護衛艦「たかなみ」前で集合写真



いざ！たかなみへ！

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は12月15日（日）、募集対象者等6名の護衛艦「たかなみ」体験航海参加を支援した。

本体験航海は、横須賀基地を出港し東京湾を航海した後、横須賀基地に帰ってくるコースになっており、貴重な体験に、参加者一同楽しみにしていた。

岸壁に到着すると、まず護衛艦「たかなみ」の大きな速射砲が目に入り、参加者たちはその大きさに驚いた様子であった。雲一つない青空の下で横須賀基地を出港すると、先ほど目に止めていた大きな速射砲の操作展示があり、その動きの凄さに「おおお〜！」と声を上げた後「かっこいい！凄い！」と話していた。約2時間の航海を終え、横須賀基地へ到着すると、基地内には多くの艦艇が停泊しており、ちょうど出航する護衛艦の姿を見て「あの艦艇はなんですか？」など多くの質問をし、海上自衛隊に興味を抱いた様子であった。参加した学生は「今日の見学とても楽しみにしていました。普段は絶対見られない護衛艦の武器操作展示を見ることができ嬉しかったです」と笑顔で話してくれた。

こうして心に残る特別な体験に思いをはせ、名残惜しうに岸壁に停泊している艦艇を眺め、横須賀地区をあとにした。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に自衛隊の魅力を発信するとともに、艦艇広報は海の無い栃木県で海上自衛隊を体験してもらえる特別なチャンスと捉え、積極的に活用していく」としている。